寄稿

Special Thanks

細矢 治夫 ^{a,b}

^a 日本コンピュータ化学会 会長

^b お茶の水女子大学名誉教授, 〒112-0012 東京都文京区大塚2丁目1-1

e-mail: hosoya.haruo@ocha.ac.jp

(Received: September 16, 2011; Accepted for publication: October 14, 2011; Advance publication: December 31, 2011)

本日、日本コンピュータ化学会が創立10周年の記念事業を会場の皆様方と無事迎えることができたことを、会員一同と共に喜び祝いたいと思います。

本学会は、10年前に化学ソフトウェア学会と日本化学プログラム交換機構の合併によって発足したものであるため、本学会の歴史とそこに積み上げられた成果は、この10年間の会員の皆様の御努力だけでなく、前身の両団体の長い歴史とそれを支えて来られた多くの方々への献身的な御努力を無視して語り、評価することはできません。

しかし、今日御出席の皆様方は私共と御一緒にこの祝いを共有できるのですが、今日ここにおられない方々には、それが叶いませんので、その方々のお名前をここに挙げて、特別の感謝の気持ちを表したいと思います。

まず、化学ソフトウェア学会の下沢隆前初代会長がおられます。その下沢先生からは、現在病氣療養中で出席できないので皆様方よろしくとのメッセージを承っております。また、同学会の吉村忠与志事務局長の奥様には、学会以前の化学ソフトウェア研究会以来長年にわたって事務局を献身的に支えて来られたことに感謝の念を禁じえません。

日本化学プログラム交換機構の側では、その事務局を

初めからお一人で切り盛りされて来られた佐々木透さんは、徹頭徹尾裏方に徹して来られました。その佐々木さんに対しては本当に頭の下がる思いで一杯です。

ベストシステムズの西 克也氏は、採算を度外視して本学会の事務局の場所の提供を頂くと共に財政的にも特別の便宜を計らって頂いたことに深甚の感謝を申し上げます。また、同社の曾々木志穂さんには、本学会の設立当初から事務局の雑務を一人でさばいて来られたことに感謝を致します。

また、カナダのモンクトン大学のブライアン・ニューボルト先生には、雑誌の英文校閲を初めから今日まで喜んで御担当頂いたことに感謝を捧げます。

ひょっとして、私が失念してここにお名前を出せなかった方がおられるかも知れませんが、申し訳なくも、その方々にも厚く御礼申し上げる次第であります。

以上は、本学会のこれまでの活動に対する御協力御援助に対する感謝の言葉であります。本学会の今後の10年20年の活動を支えて頂くであろう諸々の方々へも、この場を借りて予め感謝の意をお伝えしたいと思います。本学会の会員一同様へも従前と同様の御協力をお願いしたいと存じます。

2011年6月16日 記